



山本芳照議員

公共下水道事業の進捗状況と接続率を聞く

問

総合計画に基づく各種事業の進捗状況を聞く。

- (1) 市は、自主防災組織の結成を呼び掛けている。まだ結成されていない地区があると聞くがどうか。
- (2) 運転免許証の返納者にコミュニティバスの無料乗車券を発行してはどうか。
- (3) 公共下水道の進捗状況と、接続率は何%か。
- (4) 救急医療体制の充実をどう考えているか。
- (5) 救急車を呼んでも、海南病院が混んでいるとほかの病院に回されると聞いた。市の考えはどうか。
- (6) 国の重要文化財である服部家住宅の維持管理について、どう考えているか。
- (7) 白鳥学区防災広場の建設を、いつごろまでに目指しているのか。

既に共用を開始した

平島地区の下水道工事



22年度20%接続を目標に努力

答 防災安全課長

- (1) 現在43地区、全体で59%の結成率である。今後とも補助制度を説明し、各地区に結成の呼び掛けを

続けていく。


- (2) 料金に係ることなので、国の認可が必要になる。行うという段階になれば、地域公共交通活性化協議会で検討する。

答 下水道課長


- (3) 平島地区のほぼ全域、鎌島・操出・三稲・稲狐地区の一部を22年3月に共用開始した。目標は22年度（接続率）20%で、達成するよう努力している。今後の整備は、22年度より前ヶ須地区の整備を行っている。年間約20haを整備し、毎年共用開始を図っていく計画である。

答 健康推進課長

- (4) 基幹病院での軽症者受診を軽減することが重要である。

また海南病院では医師が救急車に同乗するドクターカーの試行運転が行われ、救命救急センターの整備計画もある。この計画に財政支援【】を行い、市民の

安心・安全に努めている。

 海南病院改築に伴い、愛西市町村とともに15年間で約19億円の支援を行い、市はそのうち約8億円を負担する。

改築費は約14億円。29年度までに入院・診療棟の一部改築、救急医療体制の充実等が計画されている。

- (5) かかりつけだったり家族の申し出があれば、救急隊は最優先で海南病院と連絡を取るが、受け入れ体制が整わないなど場合によっては別の病院へ搬送される。同病院は、時間を争う循環器疾患、周産期の母子は100%受け入れると聞いている。

答 社会教育課長

- (6) 毎年、維持管理費用として補助金60万円を計上している。

さらに(加えて)県補助金があるので、それも活用して維持管理に努めている。

答 総務部長

- (7) 用地はJRと近鉄の間で候補地を絞り込んでいく段階である。

整備は24年度以降になる見込みで、鋭意努力する。